

大前 良美さん（広島県広島市南区出身）
2015年度2次隊 青年海外協力隊
派遣国：ベナン 職種：野菜栽培
2017年1月15日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

野菜栽培を住民と改善

私は2015年度2次隊として、西アフリカのベナンに派遣されている。テレビによく登場していた、かのゾマホンさんの生まれ故郷である。任地は同国北部に位置し、イスラム教徒が多い。モスクも多く、毎日お祈りの時間にコーランが流れる。多民族国家であり、任地だけでもたくさんの民族がいる。もちろん、使用言語も違うし、顔も性格も民族によって異なる。

アフリカ人はジェネラリスト。ほとんどの人が

畑を持っており、鶏やヤギなどを飼っている。もちろん、さばくこともできる。自分で生き抜くことができる。日本人は、スペシャリスト。自分の専門分野があり、それを業としている。この点が、日本人との大きな違いだと考えている。

私の職種は野菜栽培で、村落開発支所に配属されている。1年2カ月ほどがたつが、最初の1年は住民と共に農作業をし、地域農業の状況把握に徹した。というのも、日本とは栽培条件、栽培法そして消費者が求めているものも全く異なっていたからである。

現状を鑑みた結果、①栽培手法の改善、②空^{くうしんさい}心菜などの新規野菜の導入、③ネリカ米の普及一を中心に行っている。残り10カ月の任期でこれらの活動がどこまで進むかは分からないが、現地の人々と少しずつ取り組んでいこうと考えている。

これからこの国はどのように変化していくかは彼らが決め、彼らが実行していくこと。ボランティアの役目は、彼らの手助けをすることだと私は考えている。



水田でネリカ米の生育具合を確認しているところ。低湿地をうまく利用した稲作栽培がされている